

実践学園のグローバル教育方針



学校法人実践学園 理事長・学園長 内藤 彰信

当学園のグローバル教育戦略は、単に英語など語学の習得を目的とするものではなく、むしろグローバルとは対極にある日本人としてのアイデンティティを持った、いわばローカル的なものをバックボーンとして更に磨き上げ、大切にしていくことで、国際人として世界で通用する幅広い見識と確固たる信念を持ち、尊敬される人格を育てることにあります。

当然のことながら、知識や語学力を身に付けることの大切さは言を俵ちませんが、より重要なことは、まずしっかりとした考え方、物の見方を身に付け、自分なりの判断基準を持つことです。そのうえで相手の意見や主張を理解し、互いをrespectすることが大変重要です。

世界の人々から人格者として尊敬され信頼できる人物でなければ、信用は得られないのです。

かかる理念こそが他校と基本的に異なる点であり、単に現在の大学受験を目的とした丸暗記的な教育ではなく、むしろ正解のない課題や問題に取り組み、プレゼンテーションやディベートを通じて、多くの人の前で自分の考え方や主張を堂々と述べることの出来る人材を育てることを狙っています。

これが実践学園の目指す真のグローバル化です。

このような考え方のもとに、実践学園では2019年に「LA&S(リベラルアーツ&サイエンス)コース」を創設し、学園が目指す真のグローバル化を実現する独自の教育プログラムを行っております。

そして2022年度より、6カ年教育で真のグローバルリーダーを育成する「中高一貫LA&Sクラス」を新設いたしました。

LA&Sコース(クラス)では、1クラスの在籍12名以下という徹底した少人数編成のクラスのもと、従来の学習方法の枠組みにとらわれない自由な発想で学ぶことができる様々な機会を設けております。

またLA&Sコースでは、コース生全員による約半年間の北米留学を行っています。

実に多くの民族(race)を抱え、多様性を尊重する米国社会や教育システムに学ぶことは少なくありません。世界の縮図といわれる米国には、我々日本人の日常的なルールや法、文化や社会の特徴とは異なるものが少なからず存在します。

北米留学に際しては、現地での学びの効率を高める幅広い事前研修プログラムを揃え、きめ細かいサポート体制を整えております。

また帰国後には、「日本初」となる学園独自の取り組みも含め、留学の成果を最大限高める多彩なプログラムを揃え、充実を図っております。

北米への留学生は、現在ホームステイが中心ですが、今後は寄宿舎など、多様性を学ぶ機会を増やしたいと考えています。

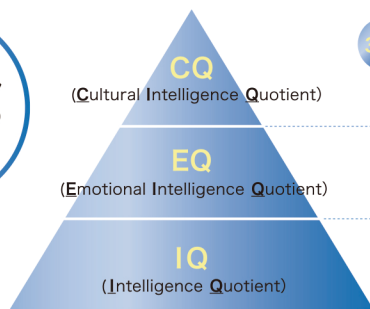
このように、当学園では国際舞台で正々堂々と活躍する生徒諸君を応援いたします。

多くの多彩な人材が、当学園からはばたいていくことを期待しています。



UCバークレーのSchultz博士によるグローバルリーダーシップ研修

グローバルリーダーの条件



3Qs

CQ=異文化適応力

様々な文化的文脈(国、人種、組織、年代、他)を超えて効果的に機能できる能力。アジア、欧米の視野が反映されている。

EQ=心の知能

自己や他者の感情を知覚し、また自分の感情をコントロールする知能。

IQ=知能

英語、数学、国語、理科、社会、等の主要科目の知識、応用力。

グローバルな舞台に立つために必要なこと

実践学園グローバル教育顧問 早稲田大学名誉教授 藤井 正嗣



グローバルリーダーという言葉がよくありますが、世界に80億の人がいて、何をもちてグローバルリーダーと称するののかについては研究者の間でも定説がないというのが実情です。

ただ、私は、第一にカルチュラル・インテリジェンス(CQ=異文化適応力)、第二にオーセンティック・リーダーシップ(ホンモノのリーダーシップ)(EQ)が必要だと考えています。

オーセンティック・リーダーシップとは、その人独自の、日本や世界の舞台で何らかの違いをもたらす力と申し上げても良いと思います。スティーブ・ジョブズやイーロン・

マスクのようなカリスマになりたいという気持ちを持つことは悪くないとは思いますが、ただ人のマネをするだけでは、ホンモノではないのです。それでは、ホンモノのリーダーシップを身に付けるにはどうしたらいいかについて、突き詰めて申し上げますと、修羅場経験ではないかと思っています。人生で起きる様々な出来事についてどう考えるかが重要なことです。修羅場経験の中で、あれは何か起きたのか、何が自分に足りなかったのか、何がそこから学べるのかを考えることです。そこから得られることが、最終的に自分らしい、ホンモノのリーダーシップを身に付ける道につながるのではないかと思います。

第三に、専門分野の力(IQ)です。ほかの人にはない自分の専門分野がないと世の中ではなかなか思い切った活躍ができないのではないのでしょうか。単に試験に合格する、資格を取るといった話ではなく、他の人には負けない何かを持つことです。

以上の要件があればグローバルリーダーになれるのではないかと私は考えています。